

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

| | |
|------|-------|
| 評価年度 | 令和6年度 |
|------|-------|

1 基本情報

| | |
|---------|---|
| 公の施設名 | 相模原市立障害者支援センター松が丘園、相模原市立けやき体育館 |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 |
| 指定期間 | 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間） |
| 施設設置条例 | 相模原市立障害者支援センター条例、相模原市立けやき体育館条例 |
| 施設の設置目的 | <p>【障害者支援センター松が丘園】 障害者の自立と社会的活動への参加を促進し、もって障害者の福祉の増進に寄与する（条例第2条）。 ※障害福祉サービス事業の多機能型事業所（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援）及び地域生活支援事業の基幹相談支援センター等を実施</p> <p>【けやき体育館】 障害者の健康の増進、機能の回復及び教養文化活動の促進を図り、もって障害者の福祉の向上に寄与する（条例第2条）。</p> |
| 施設概要 | <p>【障害者支援センター松が丘園】 ○所在地：相模原市中央区松が丘1丁目23番1号 ○敷地面積：2,388.00㎡ ○延床面積：2,703.45㎡ ○構造：鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階建 ○主な諸室：1階：作業室、ケアルーム、相談室、保健室 2階：作業室、相談室、食堂兼多目的ルーム、その他更衣室等 3階：団体活動室、生活指導室、研修室</p> <p>【けやき体育館】 ○所在地：相模原市中央区富士見6丁目6番23号 ○敷地面積：4,058.72㎡のうち2,252.87㎡ ○延床面積：1,723.37㎡ ○構造：鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺2階建 ○主な諸室：体育室、機能訓練室、更衣室、教養室、和室、教室</p> |
| 施設所管課 | 健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課 |

2 管理実績

| 項目（単位） | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|--------|-------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|--------|
| 松が丘園 | 多機能型事業所利用者数合計（人） （うち生活介護利用者数（人）） | 9,224 (1,878) | 8,752 (1,813) | 9,031 (2,871) | | | |
| | 一時ケア事業利用者数合計（人） | 1,067 | 926 | 933 | | | |
| | 基幹相談支援センター相談支援アシスト総件数（件）※1 | 132 | 135 | 242 | | | |
| | 自立支援給付費合計（円） | 93,472,457 | 88,479,547 | 88,905,727 | | | |
| | 利用者負担金合計（円） | 3,268,268 | 3,409,011 | 3,333,660 | | | |
| けやき体育館 | 利用者数合計（人）※2 | 37,736 | 46,963 | 36,631 | | | |
| | 利用料金合計（円） | 1,803,028 | 2,171,005 | 1,790,085 | | | |
| | 貸館率（%） | 52.4 | 59.6 | 58.8 | | | |

※1 令和6年度実績からは各キーセッションへのケース検討参加等を含む

※2 令和6年6月7日～12月20日までは特定天井改修工事のため体育室は利用停止

3 成果指標の達成度

| 評価（5評価） | 評価理由・委員会意見 |
|---------|---|
| A | <p>成果指標の達成度は108.6%（両施設の平均）であり、評価基準により「A評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘園】 指標2, 3は大幅に目標値を超えており、このまま継続していただきたい。 指標1の年間就労者数については、目標値を超えているものの、実績値は令和5年度から増減なしとなっている。就労相談者数は増えていることから、雇用先の新規開拓などに努めていただきたい。</p> <p>【けやき体育館】 特定天井改修工事の影響もあり目標値を下回っているが、全体の利用者数に対する障害者の利用者数の割合は38.5%と令和5年度の35.7%を上回っていることは評価できる。引き続き、利用者確保の取組に努めていただきたい。</p> |

| | |
|------------|--|
| 指標1 | 障害者支援センター松が丘園 |
| 指標名（単位） | 年間就労者数（単位：人） |
| 指標式と指標の説明 | 施設を利用し、就労する障害者が増えることにより、障害者の自立と社会参加が推進されるため、就労支援事業利用登録者のうち、一般就労に結びついた人数を成果指標とする。 |

| 項目（単位） | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| 目標値（人） | 56 | 58 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| 実績値（人） | 52 | 61 | 61 | | | | |
| 達成度（%） | 92.9% | 105.2% | 101.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

| | |
|------------|---|
| 指標2 | 障害者支援センター松が丘園 |
| 指標名（単位） | 就労定着者数（単位：人） |
| 指標式と指標の説明 | 施設を利用し、就労している障害者の職場への定着が維持されることにより、障害者の自立と社会参加が推進されるため、就労支援事業利用登録者のうち、一般就労して5年以上定着している人数を成果指標とする。 |

| 項目（単位） | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|
| 目標値（人） | | | 425 | 465 | 505 | 545 | 585 |
| 実績値（人） | 340 | 470 | 563 | | | | |
| 達成度（%） | | | 132.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

| | |
|------------|--|
| 指標3 | 障害者支援センター松が丘園 |
| 指標名（単位） | ①研修受講者総数（単位：人） ②研修受講定員に対する出席率（平均値）（単位：%） |
| 指標式と指標の説明 | 研修等の人材育成の取組により、質の高い福祉サービスの提供が図られるため、障害福祉サービス事業所職員向けに実施する研修において、障害福祉サービス事業所等従事者の受講者数（対象研修の総受講数）及び研修受講定員に対する出席率（対象研修の平均値）を成果指標とする。 |

| 項目（単位） | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|--------|----------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 目標値 | 受講者総数（人） | | 1,500 | 1,550 | 1,600 | 1,650 | 1,700 |
| | 出席率（%） | | 85 | 85 | 85 | 85 | 85 |
| 実績値 | 受講者総数（人） | 1,340 | 1,626 | 1,961 | | | |
| | 出席率（%） | 73.3 | 75.8 | 111.7 | | | |
| 達成度 | 受講者総数（人） | | | 130.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 出席率（%） | | | 131.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

| | |
|------------|--|
| 指標1 | けやき体育館 |
| 指標名(単位) | 障害者の年間延利用者数(単位:人) |
| 指標式と指標の説明 | 施設を利用する障害者が増えることにより、市内の障害者の健康の増進や教養文化活動の促進が図られるため、障害者の年間延利用者数を成果指標として設定する。 |

| 項目(単位) | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度※1 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 目標値(人)※2 | 22,200 | 22,300 | 20,000 | 20,100 | 10,700 | 10,800 | 10,900 |
| 実績値(人) | 15,363 | 16,779 | 18,627 | | | | |
| 達成度(%) | 69.2% | 75.2% | 93.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

- ※1 令和6年6月7日から12月20日まで特定天井改修工事のため体育室は利用停止していたことを考慮し、実績値は18,627人とする。
 $3,629人(実際の体育室利用人数) \times 358日(条例上の開館日数) \div 159日(令和6年度の開館日数) = 4,541人(体育室の利用停止期間中の人数)$
 $14,086人(全体の利用人数) + 4,541人(体育室の利用停止期間中の人数) = 18,627人$
 ・「条例上の開館日数」は年末年始7日間の休館日を除いた日数
 ・「利用可能日数」は条例上の開館日数から保守点検の休館日2日と特定天井改修工事による休館日197日を除いた日数
- ※2 令和8年度以降の目標値(人)を年間延利用申請人数をもとにした数値から年間延利用者数をもとにした数値に修正する。

4 事業の実施状況

| 評価(5評価) | 評価理由・委員会意見 |
|----------|---|
| S | <p>事業の実施状況の達成度は137.5%(両施設の平均)であり、評価基準により「S評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘園】 就労定着者数が増加しているの、継続していけるよう雇用する企業等へのフォローも丁寧に実施していただきたい。</p> <p>受注作業紹介件数が増加している。新たな受注作業の開拓など、市内福祉事業所の工賃アップのためにより一層取り組んでいただきたい。</p> <p>【けやき体育館】 障害の理解促進のために企業や近隣小学校と連携した取組を実施していることは評価できる。今後も新たな取組に期待したい。</p> <p>ホームページのリニューアルにより、施設内を360°ビューで確認できるようにするなど、機能が上がっていることを評価したい。</p> |

| | | | |
|-----------------|----------------------|---------------|----|
| 市が指定する事業 | 障害者支援センター松が丘園 | | |
| 主な事業名 | 実施時期 | 内容・回数・参加者・効果等 | 評価 |
| | | | |

| 主な事業名 | 実施時期 | 内容・回数・参加者・効果等 | 評価 |
|-------------------|------|--|----|
| 障害福祉サービスを行う事業 | 通年 | <p>★年間利用者 ア 通所者9,031人(生活介護①1,777人、生活介護②1,094人、自立訓練2,284人、就労移行2,366人、就労継続支援B型1,510人) イ 就労定着支援契約者18人 ウ 医療的ケア実施数1,870回(うち人工呼吸器管理40回)</p> <p>★多機能型事業所の機能を有効に活用した運営 ア 生活介護①が作業するために生活介護②利用者が支援をすることで、両事業利用者の社会的役割や達成感等を深める事業を実施。(生活介護①利用者の年間支払い工賃17,640円) イ 生活介護①利用者が”バーカリー麦の穂”の販売応援を実施(同上)。 ウ 自立訓練、就労移行、就労定着の活動報告を利用者、職員が外部で発表(就労準備セミナー1回、支援学校・サポート校3回)。当事業所の取り組みを広める機会となったことに加え、発表者には温かい応援の言葉が寄せられたことで、発表した利用者は自信を持つことができた。 エ 全事業の利用者及び家族が発表する、研修センター研修“卒業後のわたしたち”(通所福祉サービスと関連が薄い事業の職員、進路選びを考える親向け研修)の開催(年2回)効果は同上。</p> <p>★就労者 ア 就労移行就労者5人 イ 就労継続支援B型就労者2人</p> <p>★重症心身障害者に関するネットワーク会議の開催 ア 重症心身障害児者ネットワーク会議(4回)開催。相模原市内の重症心身障害児者を取巻く課題について議論することができた。</p> | ○ |
| 基幹相談支援センターとして行う事業 | 通年 | <p>ア 主任相談支援専門員を配置し、障害者相談支援キーステーションや地域の相談支援従事者に対し相談支援に関する相談に応じるとともに支援方法の検討などを242件行った。</p> <p>イ 相談支援従事者を対象にした法定研修の演習講師として4コース8名の職員を派遣するほか、相談支援に係る各種研修を5回実施し122名が参加した。相模原市の相談支援従事者の人材育成の中心的な役割を担った。</p> <p>ウ 障害者自立支援協議会の事務局として、ワーキングを含む64回の会議を開催し、相談支援従事者の横のつながりを持つ企画の実施、グループホーム向け出張型研修の実施、教育と福祉の意見交換会の実施、当事者も無理なく参加できるボランティア活動の実施、高齢者福祉との連携事例集の作成などの成果物につながった。</p> | ○ |

| | | | |
|-----------------------------|-----------|--|----------|
| <p>障害者の就労を支援する事業に関する業務</p> | <p>通年</p> | <p>★就労相談 多様な働き方に関する相談や事業主に対し雇用管理等に係る助言等を実施した。登録者数は増加が続き、事業主への相談の障害種別では精神障害者の割合が増加した。 ア 登録者数1,311人、就労者数61人、就労定着者数563人、事業主への相談件数1,541件</p> <p>★就労促進 ア 求人票の見方、面接練習など就労準備講座を2回実施し、18人参加した。 イ 「けやきカフェ等」を活用し就労体験実習を9回9人に実施した。 ウ 大学及び関係機関と連携し、障害等で就労支援が必要な学生のための支援として3大学に3回訪問した。</p> <p>★職場開拓 ア 短時間雇用創出事業で、市内企業に短時間雇用に関する啓発や実習受入企業を開拓した。企業訪問・相談等26件、新規開拓22件 イ 雇用、就労に向けた登録者と企業の適切なマッチングにおいて協力企業が61件あった。</p> <p>★職場定着支援 ア 長期に就労定着できるよう職場に401件訪問した。</p> <p>★無料職業紹介事業 ア 職業安定法に基づき登録者から求職受付等を行った。求職票提出件数122件 就職件数23件</p> <p>★登録者支援 ア 職場対人技能トレーニングを2回実施した。 イ 登録者で集まり、会話を楽しんだり余暇の充実のためにけやき体育館事業の見学・参加を周知する「さんさんサロン」を5回(参加者延べ59人)、カラオケ・ボウリング大会など「フォローアッププログラム」を4回(参加者78人)実施した。 ウ 事業案内やアンケート依頼など「就労援助センター情報」を3回発行した。</p> <p>★関係機関等への支援、連携 ア 市内の就労移行支援事業等に障害者の就労支援に関する助言等を217件行った。 イ NPO法人障害者雇用部会に7回参加した。</p> | <p>◎</p> |
| <p>障害者を一時的に介護する事業に関する業務</p> | <p>通年</p> | <p>★障害者一時ケア事業 障害児・者の家族に対し、家庭内での介護が一時的に困難な場合や、日ごろの介護疲れの解消のために、障害児・者の一時的介護を実施した。 ア 開所日数355日 延べ利用者数933人 登録者数297人 イ 医療的ケアの必要な利用者の受入れ23名 医療的ケア実施回数116回 ウ ケアの質の向上を目的とした面談・訪問・会議への職員の参加171回 エ 市のレスパイト事業の向上、ネットワークの構築、事業実施における課題の抽出や対策を目的に、障害者一時ケア事業所連絡会を年2回実施した。 オ 職員の知識や技術の向上を目的とした職員研修等の実施 「権利擁護・虐待防止研修」「スタッフ懇談会」を計4回実施した。</p> | <p>◎</p> |

| | | | |
|--|-----------|---|----------|
| <p>障害者の支援に関する事業に従事する人材の確保及び育成に関する業務 (ア) 福祉研修センターにおける各種研修の実施</p> | <p>通年</p> | <p>★福祉研修センター事業 福祉従事者、障害者及び家族並びに市民を対象とした地域の福祉力向上等を目指した研修を実施した。 ア 主催研修実施回数78回、参加者数2,185人 イ 法定研修（強度行動障害支援者養成研修（基礎研修））を1回実施した。講義回数12回、修了者数51人 ウ 障害福祉職初心者を対象とした入門コースを実施した。実施回数5回 また、強度行動障害支援者養成研修（実践研修）実施に向けた準備を行った。 エ 法人内連携企画 ・利用者の実践発表の場として、多機能型事業所と「卒業後のわたしたち」を協同企画し実施した。実施回数2回 ・「支援技術向上研修（相談）」を基幹相談支援センターと協同企画し実施した。実施回数1回 オ 相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業を実施した。実施回数7回 カ 基礎研修Ⅰ・Ⅱのうち9講座以上の受講者のうち、希望者に「研修修了証」を交付した。交付人数15人 キ 研修情報について、郵送とホームページで発信した。市内福祉事業所の研修についても発信の対象とした。発信した研修数235件（うち外部研修実施機関15件）、配布事業所数延べ5,342か所</p> | <p>◎</p> |
| <p>障害者の支援に関する事業に従事する人材の確保及び育成に関する業務 (イ) 手話通訳者等を養成する事業の実施</p> | <p>通年</p> | <p>★手話通訳者等養成事業 手話の普及及び手話通訳者の人材育成を行った。また、要約筆記者養成講座（手書きコースとパソコンコース）を実施した。 ア 手話講座 ・入門基礎講座を設置し、講座での学習および動画視聴での予習・復習により、短期間で日常会話レベルの手話と習得できる内容とした。また、応用講座を新設し、手話通訳者を目指すために実践的な講座内容とした。 ・入門基礎講座 受講者数30人、修了者数27人 ・中級 受講者数33人、修了者数29人 ・応用 受講者数17人、修了者数16人 ・フォローアップ受講者数 9人、修了者数 8人 イ 要約筆記者養成講座 ・手書きコース 受講者数 8人、修了者数 5人 ・パソコンコース受講者数 4人、修了者数 4人 ウ 聴覚障害のある人の理解を深める講座 ・聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室3回 ・要約筆記体験会1回 ・難聴者向けにコミュニケーションを高める講座を試験的に実施した。難聴者向けソーシャルスキルズトレーニング5回</p> | <p>○</p> |

| | | | |
|---|-----------|---|----------|
| <p>障害者の支援に関する事業に従事する人材の確保及び育成に関する業務 (ウ) 地域の障害福祉サービス事業所等を支援する事業の実施</p> | <p>通年</p> | <p>★地域の障害福祉サービス事業所への支援 ア 事業団職員講師派遣事業（出前事業）を実施した。実施数2回 イ 市内事業所、団体等が開催する研修の企画支援を実施した。実施回数19回 ウ 団体等の要望に応じ、事業団職員を研修講師、演習講師として派遣した。派遣回数57回 ★工賃アップ支援事業 市内福祉事業所の工賃アップのため、企業等からの受注作業の調整や、工賃アップのための取組みを行った。 ア 受注作業の開拓を行い、市内事業所に作業の紹介を行った。紹介件数1,119件 イ 就労系障害福祉サービス事業所への官公需における優先調達の支援を行った。受注数21件、契約数17件 ウ 障害福祉サービス事業所等の活動内容について販売会等を通じた普及啓発を行った。 ・販売会実施回数38回 ・ワークショップ、イベント実施回数27回 エ 市内受注作業希望一覧表を作成し、障害福祉サービスかながわへの掲載及び研修定期便にて周知した。周知回数2回 オ 市内事業所の工賃アップを目指し、工賃アップセミナーを実施した。実施回数6回 カ 受注作業紹介に依頼があった企業の情報を就労援助センターと共有し、企業開拓のための連携を行った。 キ SDGs の取組みを意識した企業と連携し、障害者を職場へつなぐセミナーを実施した。実施回数2回 ク 地域活動支援センターⅢ型の運営委員会に出席した。出席回数1回</p> | <p>◎</p> |
|---|-----------|---|----------|

| | | | |
|---|-----------|---|----------|
| <p>障害者の支援に関する事業に従事する人材の確保及び育成に関する業務 (工) その他障害者を支援する人材の確保及び育成に必要な事業の実施</p> | <p>通年</p> | <p>★障害福祉サービス事業所等人材確保事業 けやき体育館に設置した「就職情報コーナー」において市内事業所の求人情報の提供を行った。提示数12件 ★団体への支援 ア 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会の事務局を行った。 イ 相模原福祉オンブズマンネットワークの事務局を行った。</p> | <p>○</p> |
| <p>松が丘園とけやき体育館の連携に関する業務（松が丘園、けやき体育館の共通の内容であるため松が丘園の事業として掲載）</p> | <p>通年</p> | <p>★障害者地域就労援助センターとの連携 ア 就労相談業務の実施 ・「障害者地域就労援助・けやき相談センター」を活用し、新規相談20件、継続相談521件に対応した。 イ 就労体験実習の実施 ・「けやきカフェ」実習に加え、実習生の多様な希望に応えられるよう体育館事務室で行う実習内容を用意し、併せて9回9人に実施した。（障害者の就労を支援する事業に関する業務再掲） ウ けやき体育館イベント開催日に合わせた「さんさんサロン」の実施 ・障害者地域就労援助センター登録者を対象に会話を楽しんだりけやき体育館事業の見学・参加を周知する「さんさんサロン」を5回(参加者59人)実施した。（障害者の就労を支援する事業に関する業務 再掲） ★地域障害者施設支援事業との連携 ア レクリエーション支援研修 ・障害者の余暇活動への理解促進と支援者養成を目的に実施した。参加者18人 イ 「就職情報コーナー」求人情報の掲示 ・障害福祉サービス事業所等の人材確保のため求人情報の提供を行った。掲示数12件（(工) その他障害者を支援する人材の確保及び育成に必要な事業の実施 再掲） ★障害者支援センター多機能型事業所との連携 ア 自立訓練事業利用者のインターンシップ体験の場づくり ・けやき体育館の建物の機能を活かし、掃除体験を実施した。延べ6日間延べ3人実施。</p> | <p>○</p> |
| <p>利用の促進に関する業務</p> | <p>通年</p> | <p>ア 広報誌「こもれび」年2回、計2,000部発行 イ 「松が丘園通信」年3回、計1,200部発行 ウ 福祉研修センターと多機能型事業所が連携し、支援学校在校生や教師、福祉サービス従事者を対象にした研修「卒業後のわたしたち」を実施し事業について広報した。 エ 支援学校、放課後等デイサービス事業所等へ多機能型事業所利用者とともに outgoing 事業紹介を行った。</p> | <p>○</p> |
| <p>麦の穂の運営</p> | <p>通年</p> | <p>★パン販売による売上向上 ア 喫茶事業を終了し、パン作製販売に集約し、効率的な運営を展開した。 イ 利用者への支払い工賃額向上（就労継続支援B型 月平均工賃：R5 19,405円、R6 31,190円） ウ 売上向上のため利用者、職員による販売戦略会議実施（12回）</p> | <p>◎</p> |
| <p>その他の業務</p> | <p>通年</p> | <p>ア 医療的ケア児等コーディネーター意見交換会出席6回 イ 医療的ケア児等支援地域協議会出席2回 ウ 地域生活支援拠点等体制検討ワーキング出席2回</p> | <p>○</p> |

| 自主事業 | | 障害者支援センター松が丘園 | |
|-------|------------|---|----|
| 主な事業名 | 実施時期 | 内容・回数・参加者・効果等 | 評価 |
| まつカフェ | 9月15日～2月8日 | <p>令和6年度の「まつカフェ」については、全6回実施し参加者数は延べ110人であった。内容については、酒類を含めた付き合いを経験できる場として、「カフェ&バーまつ」や「忘年会」を、アカデミックな時間として、「科学館見学」、「自由な学習の時間」、「プラネタリウム鑑賞・博物館見学」、「SDGsを学ぼう！」を企画・実施した。</p> <p>「カフェ&バーまつ」や「忘年会」には多くの人が参加し、ノンアルコールビールではあったが、狙いどおり酒類を含めた付き合いを経験しながら当事者同士が交流できる内容となった。</p> <p>一方でアカデミックな時間として企画したものに対する参加者が伸び悩み、特に「自由な学習の時間」は参加者3名と最も少なかったため課題は残るが、どの回も参加者から満足の声が聞かれていた。</p> | ◎ |
| 松が丘園祭 | 10月26日（土） | <p>地域との交流を図るとともに、事業団をPRする行事として「松が丘園祭」を開始した。事業の紹介や利用者とともに行った模擬店やステージ発表などのほか、同日に和泉短期大学で開催された「いずみ祭」とのコラボレーション企画としてスタンプラリーを実施し、地域にお住まいの方や学生など、多くの方が来場した。</p> | ◎ |

| 市が指定する事業 | | けやき体育館 | |
|----------|------|---------------|----|
| 主な事業名 | 実施時期 | 内容・回数・参加者・効果等 | 評価 |
| | | | |

| 主な事業名 | 実施時期 | 内容・回数・参加者・効果等 | 評価 |
|--------------------------------|-----------|--|----------|
| <p>障害者のスポーツ及び文化活動の支援に関する業務</p> | <p>通年</p> | <p>★パラスポーツ大会・パラスポーツ体験会等の開催 ア 第5回ボッチャ大会～けやき杯～の開催 16チーム けやき体育館事業参加者同士で障害のある方とない方がチームを組むなど、地域の方との交流が図れている。 イ パラスポーツ体験会等の実施 3種、7回、86人 ★相模原市スポーツ協会と連携したパラスポーツ体験会の実施 ア 桜まつり会場でのボッチャ体験 イ 津久井湖湖上祭会場でのボッチャ体験 ★他団体主催のパラスポーツイベント等へのスポーツ指導員派遣 ア 社会福祉法人相模原市身体障害者連合会 さがみはらスポーツフェスティバル（フライングディスク指導補助） イ 公益社団法人相模原青年会議所 共生社会推進フェスタ（ブライインドサッカー体験講師） ウ 新磯地区社会福祉協議会（ブライインドサッカー体験講師） ★障害のある方を対象に各種講座を開催。一部講座はZOOMによるオンラインと対面の同時開催で実施。また、体育室の特定天井改修工事期間は、一部講座を他施設で開催した。 ア 障害者スポーツ講座 7講座、19回、349人（うち障害者238人） イ 障害者ふれあい文化講座 6講座、11回、214人（うち障害者148人） ★障害のある人がその人らしい表現に取り組める文化活動として、季節の作品を募集し、館内ロビーにて掲示した。 ★ハンドサインぬりえの展示 4月～1月、244人 毎月異なるハンドサインのぬり絵を配布し、参加者が各自で塗った作品を体育館ロビーに展示。誰でも参加できる企画とし、ハンドサインをテーマとすることで、楽しみながら障害者や障害に関する理解促進を図った。また、展示期間終了後、ぬりえと同じイラストの缶バッジを提供。缶バッジを使用していただくことで、手話を広めるきっかけを図った。大人から子どもまで、年齢、障害の有無を問わず好評であった。</p> | <p>◎</p> |

| | | | |
|-----------------------------|-----------|---|----------|
| <p>障害者余暇活動支援事業の実施に関する業務</p> | <p>通年</p> | <p>★さがみはらSDGs パートナー企業等と連携したイベントの実施 ア アリオ橋本で高齢・障害者支援課が実施している「いきき百歳体操かがやき橋本」開催日に合わせ、「ふらっとポッチャinアリオ橋本」を月1回実施。アリオ橋本のお客様に気軽にポッチャを体験できる機会を提供。継続して参加して下さる方もおり、好評を得ている。けやき体育館事業の参加やボランティア参加にもつながっている。 イ 富士見小学校6年4組×一般社団法人相模湖 森・モノづくり研究所 MORIMO×けやき体育館 クリスマスツリー点灯式（相模原市制施行70周年のお祝いメッセージを書いた木のオーナメントを飾ったツリーの点灯式）の実施。お祝いメッセージは富士見小学校主催イベントやけやき体育館事業開催時、来館者等で募集し、けやき体育館ロビーにツリーを展示。点灯式には市長を招待し、市制施行70周年を祝福した。また、イベント実施に当たっては、富士見小学校生徒を対象としたけやき体育館事業等の案内、パラスポーツ体験の講師派遣など、障害者及び障害に関する理解啓発を図った。 ウ アリオ橋本SDGs フェス ポッチャ体験ブース出展 ★障害の有無にかかわらず参加できる地域交流イベントを実施。3種130人（うち障害者43人） ア トヨタ自動車株式会社共催「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」（障害のある方と小学4～6年生対象） イ けやき☆ひろば（トランポリンなど様々な器具を使用したレクリエーション）の実施。ボランティア、利用団体、地域活動団体の協力のもと実施。 ウ 何でもの発表会の開催。障害のある方が演奏やダンスなど日ごろ練習しているものの成果を発表する場を提供。 ★障害者週間に合わせた「けやきウィーク」にて、ポッチャやフライングディスクなどのパラスポーツ体験会やクリスマス点灯式（再掲）を開催。実施に当たっては、体育館利用団体、ボランティアに協力をいただいた。参加後にサークルに加入するなど、継続しての活動支援が出来た。 ★障害のある方を対象に、ボランティアや当日の参加者同士と一緒に楽しむ「きままシリーズ」を実施。事前申込不要、開催時間内であれば自由に、気軽に参加できる事業として、好評を得ている。実施に当たっては、ボランティアの受け入れや、利用団体、地域活動団体に協力を依頼する等、地域との連携を図った。また、一部は、障害の理解促進、パラスポーツの普及を目的に、障害のあるなしに関わらず誰もが参加できることとした。 ア カラーリング&ポッチャ、卓球&バドミントン、トランポリン、フライングディスクなどのスポーツ系 4種、41回776人（うち障害者428人） イ 将棋、アートの文科系 2種、24回、153人（うち障害者76人） その日の気分で気軽に参加できることから、当事者だけでなく、ボランティア、地域の方からも好評を得ており、継続した参加へとつながり、地域の方と自然な交流が図れている。</p> | <p>◎</p> |
| <p>利用の促進に関する業務</p> | <p>通年</p> | <p>★ホームページのリニューアル（アクセシビリティへの対応）を実施 スマートフォン対応や、諸室紹介の360度ビューを取り入れるなど、より分かりやすく情報を提供できるよう改善した。 ★個人利用の種目追加、日程設定の変更 卓球・バドミントンに加え、バスケットボールを追加。新たな利用者層の拡大を図った。また、利用のない時間帯を活用した日程設定により、個人利用の日数増やし、利用者増を図り、けやき体育館事業やボランティアへの参加へとつなげた。 ★公式×けやき体育館通信を通じての空き状況や個人利用の案内等の情報発信</p> | <p>◎</p> |

自主事業 | けやき体育館

| 主な事業名 | 実施時期 | 内容・回数・参加者・効果等 | 評価 |
|-----------|------|--|----|
| けやきカフェの運営 | 通年 | <p>★施設利用者の利便性向上を図るため、けやきカフェを運営</p> <p>ア 松が丘園麦の穂のパンを取り入れたメニューの提供、テイクアウトの実施。247日営業</p> <p>イ 就労を目指す障害者の就労実習体験の受入れ。5人23日（再掲）</p> <p>★地域における公益的な取組事業として、地域の方がほっとできるような居場所や交流の場「みんなのけやきカフェ」を実施。定額での食事提供を実施。2回71名</p> | ◎ |

5 利用者の満足度

| 評価（5評価） | 評価理由・委員会意見 |
|----------|--|
| B | <p>利用者の満足度の達成度は95.5%（両施設の平均）であり、評価基準により「B評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘園】 就労援助センター、手話通訳者等養成事業が新たに追加されたことを評価したい。より良い事業にしていくために調査結果をいかしていただきたい。</p> <p>【けやき体育館】 不満の声に対する対応策も検討されているようなので、次年度以降の改善に期待したい。</p> |

| 利用者満足度調査 1 | 障害者支援センター松が丘園 |
|------------|---|
| 調査手法/サンプル数 | <p>法人独自の無記名アンケートを期間中実績のあった利用者等に対し次のとおり実施。</p> <p>▽多機能型事業所：実施期間 令和6年10月1日～10月31日、回収数45件/配布数45件（回収率100%）</p> <p>▽一時ケア事業：実施期間 令和6年11月1日～12月27日、回収数39件/配布数59件（回収率66.1%）※対象は一定期間に実績のあった利用者</p> <p>▽就労援助センター：実施期間 令和6年9月1日～10月31日、回収数10件/配布数15件（回収率66.7%）※対象は企業担当者</p> <p>▽福祉研修センター：実施期間 令和7年3月7日～令和7年3月22日、回答数106件/対象数378件（回収率28.0%）※調査フォームアプリを使用</p> <p>▽手話通訳者等養成事業：実施期間 令和7年1月30日～令和7年3月15日、回収数71件/80件（回収率88.8%）</p> <p>実績値（満足度）は次の計算式により求めた値。 ▽「事業に対する評価の全設問（22問）の合計点 ÷（最大点数（3点）×全設問の有効回答数）×100」 ※配点は満足3点、まあ満足2点、やや不満1点、不満0点。無回答等は採点の対象外。</p> |
| 目標値の基準 | 指定管理者制度を導入している障害福祉施設で令和元年度～令和5年度に実施した利用者満足度調査の実績値の平均 |

| 項目（単位） | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 目標値（%） | 94.1 | 94.7 | 92.8 | 92.8 | 92.8 | 92.8 | 92.8 |
| 実績値（%） | 98.2 | 97.9 | 88.9 | | | | |
| 達成度（%） | 104.4% | 103.4% | 95.8% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

※ 令和6年度から調査対象事業を追加、また実績値の求め方を変更

| その他の取組 | | |
|-------------|----|--------------------------------------|
| 取組事項 | 時期 | 取組内容 |
| 福祉オンブズマンの来訪 | 通年 | 2名の福祉オンブズマンが年間10回来所。利用者からの相談等を受けている。 |
| ご意見箱の設置 | 通年 | ご意見・ご要望シート、ご意見箱をロビーに設置している。 |

| | |
|------------------|---|
| 利用者満足度調査2 | けやき体育館 |
| 調査手法/サンプル数 | 法人独自の無記名アンケートを期間中利用のあった施設利用者、団体を対象に次のとおり実施。 ▽実施期間 令和7年1月4日～1月31日 回収数183件/配布数199件（回収率91.9%） 実績値（満足度）は次の計算式により求めた値。 ▽「事業に対する評価の全設問（5問）の合計点÷（最大点数（3点）×全設問の有効回答数）×100」 ※配点は満足3点、まあ満足2点、やや不満1点、不満0点。該当なし、無回答、わからないは採点の対象外。 |
| 目標値の基準 | 指定管理者制度を導入している障害福祉施設で令和元年度～令和5年度に実施した利用者満足度調査の実績値の平均 |

| 項目（単位） | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 目標値（%） | 94.1 | 94.7 | 92.8 | 92.8 | 92.8 | 92.8 | 92.8 |
| 実績値（%） | 98.4 | 98.1 | 88.3 | | | | |
| 達成度（%） | 104.6% | 103.6% | 95.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

※ 令和6年度から実績値の求め方を変更

| その他の取組 | | |
|----------------|----|---|
| 取組事項 | 時期 | 取組内容 |
| ご意見箱の設置 | 通年 | ご意見・ご要望シート、ご意見箱をロビーに設置している。 |
| 使用点検カードに意見欄の設置 | 通年 | 施設利用時に提出していただいている使用点検カードに気づいた点等の意見を自由に記載できる枠を設けている。日々の利用で気づいた点などを記載していただくことで、即時性のある対応ができています。 |

6 施設の経営状況

| 評価(5評価) | 評価理由・委員会意見 |
|----------|--|
| S | <p>本体事業収支は差額0円であるが、備考欄記載の対応がされていることから、施設収支は「本体事業収支、全体収支ともに黒字」とする。財務状況は「団体本体の経営状況に特段の課題はない」であることから、評価基準により「S評価」とする。</p> |

| 施設の収支概要 | | ※直近3年間について記載 | | |
|--------------------------|---|--------------|---------|---------|
| 項目 | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 事業活動による収入 (a) | | 356,083 | 387,374 | 396,215 |
| | 就労支援事業収入 | 11,256 | 13,791 | 10,156 |
| | 障害福祉サービス事業収入 | 98,778 | 94,520 | 92,496 |
| | 指定管理事業収入 | 244,862 | 278,098 | 292,189 |
| | その他の収入 | 1,187 | 965 | 1,374 |
| 事業活動による支出 (b) | | 399,227 | 483,973 | 384,535 |
| | 人件費 | 274,271 | 292,421 | 269,037 |
| | 事業費支出 | 7,517 | 13,142 | 7,091 |
| | 事務費支出 | 105,791 | 164,187 | 97,929 |
| | 就労支援事業支出 | 11,268 | 13,809 | 10,156 |
| | その他の支出 | 380 | 414 | 322 |
| 事業活動による収支 [(a)-(b)] (c) | | -43,144 | -96,599 | 11,680 |
| 施設整備等収入 (d) | | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出 (e) | | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等収支 [(d)-(e)] (f) | | 0 | 0 | 0 |
| その他活動による収入 (g) | | 109,275 | 172,083 | 41,882 |
| その他活動による支出 (h) | | 66,131 | 75,484 | 53,562 |
| その他活動による収支 [(g)-(h)] (i) | | 43,144 | 96,599 | -11,680 |
| 本体事業収支 [(c)+(f)+(i)] (j) | | 0 | 0 | 0 |
| 自主事業収入 (k) | | 3,823 | 4,585 | 4,772 |
| 自主事業支出 (l) | | 3,634 | 4,061 | 4,645 |
| 自主事業収支 [(k)-(l)] (m) | | 189 | 524 | 127 |
| 全体収支 [(j)+(m)] | | 189 | 524 | 127 |
| 備考 | <p>本来、本体事業収支は黒字ではあるが、指定管理料における黒字分は指定期間満了後に精算されるため、各年度ごとの黒字分はその他活動による収支に含まれている。そのため本体事業収支の差額が0円となっている。</p> | | | |

| | |
|---------|------------------------|
| 団体の財務状況 | 団体本体の経営状況について特段の問題はない。 |
|---------|------------------------|

7 管理業務の履行状況

| | | | |
|---------------|---|----------------|----|
| 検査方法 | 高齢・障害者福祉課職員による現地確認及びヒアリング | | |
| 実施時期 | 【障害者支援センター松が丘園】 令和6年8月6日 【けやき体育館】 令和6年8月5日 | | |
| 検査項目 | 松が丘園 確認結果 | けやき体育館 確認結果 | 備考 |
| 管理業務 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 危機管理 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 人員配置・地元活用 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 現金管理 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 会計・経理 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 情報セキュリティ | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 情報公開・個人情報保護 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 市への報告事項・事前承認等 | 適正に実施 | 適正に実施 | |
| 加点事由 | 具体的内容 | | |
| | | | |

8 ウェブアクセシビリティ

| | |
|-----------|---|
| ホームページの作成 | 有 |
|-----------|---|

| ウェブアクセシビリティの取組項目 | 松が丘園 取組状況 | けやき体育館 取組状況 |
|---|--------------|----------------|
| 機種依存文字を使っていない。 | ○ | ○ |
| ページ内の文字の大きさを変えることができる。 | × | ○ |
| 単語の途中にスペースや改行を入れていない。 | ○ | ○ |
| ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。 | ○ | ○ |
| ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。 | ○ | ○ |
| 画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。 | ○ | ○ |
| 背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。 | × | ○ |
| その他取り組んでいること | | |

9 指定管理者の自己評価

【障害者支援センター松が丘園】

・今期の指定管理期間から、多機能型事業所では、医療的ケアの必要な人の積極的な受け入れや、障害のある人に対して“自分らしい多様な働き方”を提供するため、各事業の定員の再編を行い、これまでの支援に加え、重度の障害のある人の活動をより広く支援した。

・一時ケア事業では、重度の障害のある人が安心して利用できるよう、医療的ケアの必要な人の受け入れ態勢の整備や、関係機関との連携強化に取り組んだ。

・中央障害者相談支援キーステーションの設置に伴い、基幹相談支援センターの機能を整理し、地域の相談支援従事者に対する助言等の支援者支援を充実させることができた。

・障害者雇用の取り組みの進展もあり、就労者数、就労定着者数ともに目標値を上回った。また、研修センターでは入門コースを設置するなどの取り組み等により受講者数の増加につながった。

・利用者満足度調査では、これまでと同程度の満足、やや満足の回答を得ているが、算出方法の変更により、実績値は前年度より低下している。引き続き満足度の向上に努めていく。

【けやき体育館】

・体育室特定天井改修工事のため、6月7日から12月20日の間、体育室が利用停止となったことが影響し、利用者の合計人数が減少、指標である障害者の年間利用人数も目標値を達成は難しい状況であった。この期間中、一部講座を他施設で開催するなど、工事の影響を最小限に抑えるよう努めた。利用団体等には、工事について適切に案内を行った。

・パラスポーツの普及啓発に当たっては、地域で行われるイベント等で体験会を実施するなど、積極的に取り組んだ。

・地域における障害への理解促進のため、ハンドサイン塗り絵の展示や障害の有無にかかわらず参加できるイベント開催に取り組んだ。

10 所管課意見

【障害者支援センター松が丘園】

・生活介護事業を2つに分け、医療的ケアが必要な方の利用回数が増加していることは大変評価できる。ただし、就労移行支援のみ利用率が70%を超えているが、利用率は決して高くはない。障害福祉サービスの利用者確保に努めていただきたい。

・基幹相談支援センターについては、中央障害者相談支援キーステーションの開設により、新たな取組が実施できるようになったと考えている。地域の相談支援体制の強化にさらに努めていただくとともに、将来の人材確保のためにソーシャルワーカー養成支援にも力を入れていただきたい。

・自主事業のまつカフェや松が丘園祭のような活動は、施設利用者が普段とは違う経験をすることができる。けやき体育館で実施した近隣小学校との連携のような新たな取組を検討していただきたい。

・福祉研修センター事業については、新たに入門コースを新設したことで、事業者間の横の繋がりの構築及び新任職員の定着に寄与したものと評価している。引き続き実施していただきたい。また、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の市内修了者が増えてきた中で、強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の受講ニーズも高まってきているものと想定される。実施に向けて、引き続き準備を進めていただきたい。

【けやき体育館】

・特定天井改修工事により年間を通した体育室の営業ができない中で、多くの利用者数を受け入れ、また多数の事業を実施していることは大変評価できる。令和7年度は空調設備設置工事を実施する予定であり、再度体育室の営業ができない期間が生じることとなるが、室温の課題を解消することができるため、利用者へのアピール方法等を検討し、成果指標の達成に向けて取り組んでいただきたい。

・近隣小学校との連携したイベントのように、障害の理解促進、パラスポーツの普及啓発となるイベントはぜひ継続して実施していただきたい。

・公式Xへ多数投稿するなど、SNSを活用した情報発信などにより、数は多くはないが、SNSを通してけやき体育館を知った方もいる。初めて利用する方が増えていくように、引き続き積極的な周知に取り組んでいただきたい。

11 選考委員会意見

【障害者支援センター松ヶ丘園】

- ・障害福祉サービスの利用者を引き続き積極的に確保することに尽力いただきたい。
- ・麦の穂などにおいて、農福連携を今後検討し、相模原市産品を使用することを意識していただきたい。
- ・就労移行支援事業及び就労定着支援事業ともに安定した事業運営をしている。障害者が自立した生活を送るためには就職していくことが大切であり、しっかりと支援しているところが評価できる。
- ・市内で数少ない医療的ケアが必要な方が通う事業を担っている施設であることに加え、受入れ体制が整ったことで利用実績が大幅に増加したため、ニーズがあることがわかった。引き続きその機能役割を果たすことに期待したい。

【けやき体育館】

- ・空調設備が整うことで利用者数増加が見込めるため、ネット予約等を検討し、貸館率を上昇させる施策をとる方向が良いのではないかと。
 - ・社会的にパラスポーツの関心が高まっていることもあり、けやき体育館でのイベントにより一層期待したい。
 - ・デフリンピック開催以降も聴覚障害に関連した事業を継続していただきたい。
 - ・利用者満足度調査では、接遇に関するご指摘の意見もあったため、今後意識し利用者増に期待したい。
- 【松ヶ丘園・けやき体育館】
- ・けやき体育館については、ホームページをリニューアルしたことに加え、公式Xの投稿数が頻繁に行われているところが評価できる。松ヶ丘園ではインスタも開設され、今後写真付きで状況が分かり易い投稿ができると良いと考える。引き続き積極的な情報発信に期待したい。

総合評価（自動判定）

A

(80/100)

